

◇ 学 習 指 導 案 に つ い て ◇

この学習指導案は、各教科等の特性により形式や内容に若干違いはありますが、基本的には以下のようになっています。

御覧になる際には、下記のことを参考にしてください。

〇〇科学習指導案，または略案

〇年〇組 〇〇名 指導者 〇 〇 〇 〇

リード文…今回の授業で、検証したいことについて述べてあります。

1 単 元（題材） 〇〇〇〇

2 目 標

※ 本単元（題材）で身に付けさせたいことを指導目標として述べてあります。

3 単元（題材）の評価規準

- ～に関心をもち、～意欲的に調べることを通して、～しようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ～について考え、～している。 【思考・判断・表現】
- ～を活用するとともに、～することができる。 【技能】
- ～を理解している。 【知識・理解】

※ 単元（目標）を分析して、子どもの姿で述べてあります。

※ 評価規準の観点は4観点を基本としていますが、教科等によって異なります。

4 単元（題材）について

(1) 単元（題材）について

※ 単元（題材）設定の意義や教材観について述べてあります。

(2) 子どもについて

※ 本単元（題材）にかかわる内容について子どもの実態を明らかにし、共感的な子ども理解という立場から、子どもをどのようにとらえているかを述べてあります。

(3) 指導について

※ 本単元（題材）において、どのような手立てを行うことで、どのような力を子どもに付けたいのかを述べています。

5 指導計画（総時数〇時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
思いをもつ	<p>1 題材名ボードや作品例から、扉の向こうに広がる世界の面白さについて気付いたことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">まほうのとびらの向こうに広がるふしぎな世界を想ぞうし、工夫して絵に表そう。</p> </div> <p>【関：扉の向こうに広がる世界を想像し、絵に表すことを楽しもうとしている。】</p>	1

6 本時 (○/○)

(1) 目標

※ 単元（題材）の目標や評価規準を基に、指導目標を述べてあります。

(2) 評価規準

※ 指導計画の本時に位置付けてある評価規準を述べてあります。これが本時で重点的に評価し指導していく内容になります。

(3) 指導に当たって

※ 活動の流れに沿って、どのような指導を行っていくかを述べてあります。

(4) 本時の展開 重点化する思考スキル 子どもの意識 指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
思いをふくらませます	30	<p>3 友達作品を見て、気付いたことを紹介したり、質問したりして、全体で交流する。</p> <p style="text-align: center;">関連付ける</p> <p>（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 扉を開くと、いきなり顔が表れてびっくりしましたが、どうして顔にしたのですか。 この模様は、不思議な世界と合っていますが、どうやってつけましたか。 	<p>○ 作品を自由に見て回るギャラリーウォークを行うことで、友達のいろいろな工夫に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 教師が子どもの気付かなかった工夫を紹介することで、自分なりの工夫に自信をもったり、試してみたいという思いをもったりすることができるようにする。</p> <p>※ まほうの扉の向こうに広がる世界を表す工夫を見付けている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート・活動)</p> <p>○ 達成している子どもには・・・</p> <p>○ 達成していない子どもには・・・</p>

※ 「ゴシック体」 : 「思考スキル」を活用し、思考力・判断力・表現力を高める教師の指導の手立てや「学び合い」の中で思考力・判断力・表現力を高める教師の手立てを述べてあります。

※ 学習活動における評価は※で表しています。また、評価の見取り方を（ノート）、（発表）、（作品）、（ワークシート）など具体的な方法で示しています。
「波線枠」には、評価規準を見取った後の指導の手立てについて述べてあります。

※ 本時の終末には、「二重線枠」で、学習のまとめを示しています。